

Strix 13: 259-261 (1994)

山口県におけるヒクイナ *Porzana fusca* の越冬川本美千夫¹・渡辺美郎²

1. 〒745 山口県新南陽市日地町2-18, B-34.

2. 〒733 広島県広島市西区庚午北1-8-17-210.

ヒクイナ *Porzana fusca* は夏鳥として日本各地に渡来し、水田や湿地などで繁殖をしており（清棲 1978）、山口県でも繁殖が確認されている（日本野鳥の会山口県支部 1990）。南西諸島では少数が越冬しているが（清棲 1978）、本州での冬期の観察例は少ない（安達 1992, 風張 1993, 安藤ほか 1994）。筆者らは、冬期に山口県岩国市において4羽のヒクイナを観察したので報告する。

越冬地は、山口県岩国市尾津町で（図1）、錦川の支流である門前川河口の干潟の一部を埋め立てた地域にある。南西には隣接して工場と住宅地があり、北東には米軍岩国基地がある。門前川をはさんで対岸には米軍の空港があり、飛行機の発着時は騒音が激しい。尾津地区のほとんどの畑ではハスが栽培されており、ハス田内の道路沿いには人家がまばらにある。

図1の地点aでは1994年1月9日に1羽、1994年2月6日に2羽観察された。以後この2羽が1994年4月23日まで継続して観察された。地点bでは、1994年2月6日に2羽が観察され、1994年3月19日に1羽が観察された。

地点aでは、幅約5mの用水路の約60mの区間で観察された。川の水深は水門で調整するため変動

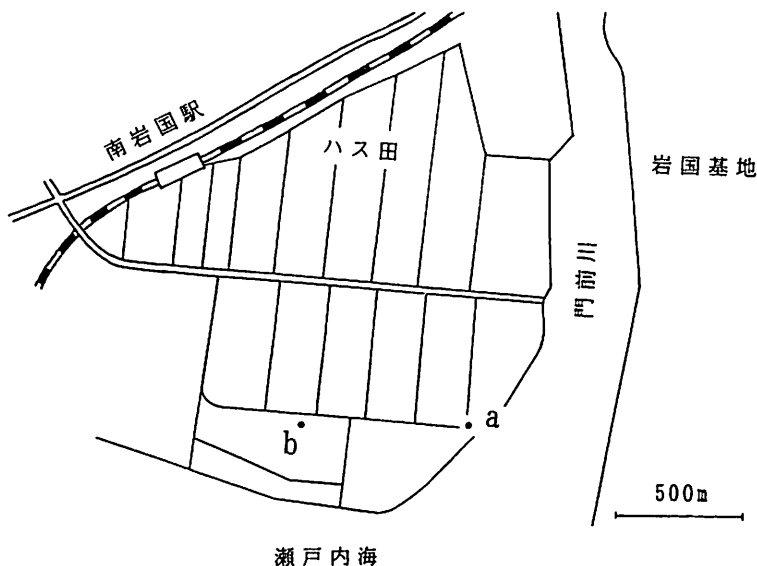


図1. 調査地と観察地点 (a, b).

Fig. 1. Map of the wintering area.

1994年11月25日受理

キーワード：越冬記録, ヒクイナ, 山口県

し、浅い時には0 cmから5 cm程度、深い時には30 cmから40 cm程度であった。植生は、アシ *Phragmites communis*、イタドリ *Polygonum cuspidatum*、ススキ *Miscanthus sinensis*、ノイバラ *Rosa multiflora* Thunb、セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* などがあった(図2)。用水路内には投棄された発砲スチロールや空き缶、ビニール袋、木片などが散らばっていた。ヒクイナはこの用水路の両岸の湿地で食物を探したり、ビニールや木片を起こして下にいる小動物を食べていた。ときおり草のあいだで休息をとり、警戒した場合も草のあいだに入った。また、しばしば用水路から出て、約15 m離れた生ゴミの投棄場所で食物を探していた。この生ゴミの投棄場では、ムクドリ *Sturnus cineraceus*、ツグミ *Turdus naumanni*、バン *Gallinula chloropus*、クイナ *Rallus aquaticus* も採食していたが、これらの種と争うことはなかった。

地点bは荒地と溝の区画で、周囲の区画はハス田として利用されているが、ここは耕作されないまま放置された土地で、メダケ *Pleioblastus simonii* Nakai、スイバ *Rumex acetosa*、イ *Juncus effusus* var. *decipiens*、ヨモギ *Artemisia princeps*、ススキなどが繁っていた(図3)。この区画の東側のハス田との境には南北に水の溜まった溝が約60 mあった。水深は約5 cmから10 cmであった。ヒクイナはこの溝の中のほぼ全域を採食しながら移動し、ときおり雑草の中に隠れた。ヒクイナは、カエルや泥の中のミミズのような小動物、小さい昆虫などを食べていたが種類は不明であった。ここではバン、ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*、モズ *Lanius bucephalus* がみられた。

地点aでは栗原(私信)が1993年の冬にヒクイナを継続して観察しているので、少なくとも2年つづけて同一場所で越冬していたことになる。また、1993年6月にヒクイナの鳴き声が聞かれたので、繁殖の可能性もある。

調査地点a、bは、どちらも浅い水があった。採食場所の近くには植物が茂り、体を隠すことができた。この環境は、安達(1992)が報告したヒクイナの越冬場所と似ている。

今回、新しく越冬記録が得られたことは、これまでヒクイナが越冬していた南西諸島や東南アジアの環境が悪化し、越冬地が変わった可能性もある。もしそうならば、今後日本で越冬する個体が増加することも予想され、よく似た環境に生息するクイナなどにも影響がでる可能性がある。今後ヒクイナを保護するうえで、越冬数や越冬環境を確認する必要がある。



図2. 地点a.

Fig. 2. Study site a.



図3. 地点b.

Fig. 3. Study site b.

引用文献

- 安達利之. 1992. 野鳥情報・公式記録. Strix 11: 380.
 安藤昭博・服部・小山田. 1994. フィールドノート 野鳥 59 (5). 32.
 風張幸夫. 1993. 野鳥情報・公式記録. Strix 12: 262.
 清棲幸保. 1978. 増補改訂版日本鳥類大図鑑Ⅱ. 講談社, 東京.
 日本野鳥の会山口県支部. 1990. 山口県版鳥類繁殖調査報告書. 日本野鳥の会山口県支部, 山口.

First record of Ruddy-breasted Crakes *Porzana fusca* wintering at Ozu, Iwakuni, western Honsyu.

Michio Kawamoto¹ and Yoshiro Watanabe²

¹ 2-18, B-34. Hiji-cho, Shinnannyou-shi, Yamaguchi 746; ² 1-8-17-210. Kougo-kita, Nishi-ku, Hiroshima-shi, Hiroshima 733

We observed four Ruddy-breasted Crakes *Porzana fusca* between January 9 and April 23, 1994 at Kakou estuary, Ozu-cho, Iwakuni, Yamaguchi Prefecture. This is the first record of this species wintering in this area. The crakes stayed in the irrigation canals in Lotus fields near a US airforce base.

Key words: *Porzana fusca*, wintering record, Yamaguchi Prefecture